



第275号

社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 会報

静臨技ニュース

発行所／(社)静臨技渉外広報部 〒422-8062 静岡市駿河区稲川1-1-15 ヴィラセーユー稲川207
TEL.054(287)6337 FAX.054(287)4113
発行者／横地 常広 編集責任者／松岡 敏彦 発行日／平成25年 2月 1日 印刷所／小林クリエイティブ(株)

2月号の内容



セツブンソウ (節分草)
学名 : Shibateranthis pinnatifida

- ◆ 検査のひみつ展 …… 1～2
- ◆ 福島甲状腺超音波検査参加報告 …… 3
- ◆ 研修会等終了報告 …… 4～6
- ◆ 会員投稿 (3名) …… 7～9
- ◆ 2月・3月の行事予定・お知らせ …… 10
- ◆ 研修会・講習会案内 …… 11～12
- ◆ 会員の異動 etc. …… 13

(社) 静臨技会員各位

社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会
会 長 横地 常広

「検査のひみつ展」開催について (お願い)

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、(社)静岡県臨床衛生検査技師会は、公益目的事業の一環として「検査のひみつ展」の開催を企画しております。このイベントの趣旨は、地域住民の健康増進、健康診断の大切さを広く啓発し、医療（特に検査業務）に対する理解を深めることを目的とします。来場いただいた地域の皆様に医療技術を公開し、技師会会員が各種体験のサポートや解説を行ないます。企画内容については、概略を下記に記載させていただきます。

つきましては、本イベントの趣旨をご理解いただき、ひとりでも多くの会員が参加していただけますようよろしくお願い致します。

敬具

□開催日時 2013年3月9日(土)・10日(日)

10:00 ～ 16:00

□会場 ツインメッセ静岡 西館 2F 小展示場

□対象者 一般来場者の方・未来を担う子供たち (入場無料)

□主催 (社)静岡県臨床衛生検査技師会

□その他 静岡県・静岡市、他の医療団体、教育委員会など (後援依頼予定)

🌐 内容と構成（案）

《本物の検査技術に触れよう》 超音波装置体験（心臓／腹部／頸動脈など）

《測定してみよう》 骨密度測定／体成分測定／尿中塩濃度測定

《癌細胞を見てみよう》 がんの解説（腫瘍マーカー・FISH など）／顕微鏡下での癌細胞解説

《女性のがんを知ろう》 乳がん・子宮頸がんの解説／乳腺超音波／乳がん触診モデル

《蘇生方法を身につけよう》 止血・応急処置／心蘇生・AED 体験

《検査技師になるには・・・》 検査技師紹介／資格取得の方法など

《健診の大切さ・データの見方（糖尿病を中心に）》

健診の「特設コーナー」を設けて一般来場者に対して早期発見の大切さ、合併症の怖さについて啓発活動を展開します。このコーナーでは、趣旨に賛同していただいた賛助会員の方々にも参加いただき、技師会会員と共に公益活動として活動する予定です。賛助会員の固有の宣伝については企画外とし、あくまでも公益目的事業として展開致します。



ツインメッセ静岡 静岡市駿河区曲金3丁目1番10号

●バス

JR静岡駅北口11番乗り場から「登呂コープタウン行き」約10分

「南郵便局ツインメッセ前」下車



福島県健康管理調査 甲状腺超音波検査 参加報告

静岡赤十字病院 栗原五美

先日、福島県での甲状腺超音波検査に参加してまいりました。
あらかじめ福島県の事務方との打ち合わせによってスケジュールと宿泊先は決まっていました。
前日夜間に到着した新白河駅前には想像以上に何も無い静かな土地で、ひっそりと松尾芭蕉の像が
たっていました。

当日は早朝からホテルのロビーに福島県立医科大学の看護師さんに乗せた乗合タクシーが迎え
に来てくれました。いよいよ始まりです。私は三日間のスケジュールで組みましたので、初日は
全校で 200 人ほどの中学校、二日目は 400 人弱の小学校、そして三日目は市立体育館において未
就学児と高校生以上を対象に検査を行いました。検査者一人に 1 名の看護師あるいは介護士が就
いて検査体位や氏名確認、また小さな子をあやす事までやってくれます。GE 社の LOGIQ e
Expert を福島での甲状腺一次検査用にカスタマイズしてあり、如何に早く検査を行うかが鍵とな
ります。報告書の決められた形式にのっとり縦径、横径、厚径の測定、嚢胞や腫瘍の最大径の測
定、静止画及び動画の保存を行います。設定としては検査者の力量を加味したうえで、およそ 100
から 150 件を一人が 1 日に行える検査数としているようです。私もなんとかノルマを達成してま
いりました。

静臨技ニュースの会員投稿に思いのほか反響があり、また既に参加されていた方もいらしたこ
とを知り大変嬉しく感じました。この事業はまだまだ続きます。2013 年は
郡山市周辺の調査から行われると聞いています。体表臓器の超音波検査士
資格をお持ちで福島県民の健康管理調査にご賛同いただける方、それぞ
れの職場で積極的な支援を得られる方のご協力をお願いします。



直接の参加申し込みは下記へ

福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター

電話 024-549-5130 (土日祝日を除く 9:00~17:00)

メール kenkan@fmu.ac.jp

また、今後静岡県臨床衛生検査技師会においてこの事業に検査技師の派遣支援をすることも検討
されます。参加の意思のある方のメールをおまちしています。

静岡赤十字病院 検査部 栗原五美

couinaud-s11@shizuoka-med.jcr.or.jp

終了報告

平成 24 年度 第 29 回静岡県臨床検査精度管理調査成績検討会

静岡県医師会臨床検査精度管理委員会 統括担当
常務理事 藪田 明広

本年度は会場確保の理由から、例年より1～2週間遅い12月16日（日）の開催となりましたが、年末の大変の忙しい時期にもかかわらず336名の参加をいただき、例年同様盛大かつ滞りなく開催することができました。ご参加いただきました技師会員の皆様ならびにご担当、ご協力いただきました精度管理調査委員、技師会役員の皆様には深く感謝申し上げます。

日臨技の標準化事業の一環として地域精度管理調査を初めてスタートした都道府県が多い中、静岡県は今回で既に29回を迎え、調査の内容に習熟度を増し、結果成績も全国レベルで高い水準に達していることを実感しております。今後とも本調査を母体に、研究班事業、標準化事業とタイアップしながら県内施設の更なる格差是正に努めていきたいと考えておりますので、今後ともご協力をお願い致します。

次回開催は、平成25年12月8日（日）「あざれあ」を予定しております。



研修会終了報告

研修会名	平成 24 年度 西部地区細胞診従事者講習会
開催日	平成 24 年 12 月 8 日 (土)
会場	JA 静岡厚生連 遠州病院
参加人数	38 人
研修会内容	<p>今回の講習会はホルマリン・有機溶剤の危険・有害性についての講習と、乳がん診療における病理・細胞診の重要性についての講習でした。</p> <p>ホルマリン・有機溶剤については、各施設で様々な対策をとられていると思いますが、ホルマリンによる健康被害の実際の写真や話は悲痛なものでした。10 月よりキシレンに対する規制も加わり、より良い環境で仕事をするためにも、さらに、しっかりと対策をしていかなければいけないと実感しました。</p> <p>乳がん診断においては、近年、ホルモン療法や化学療法などが発展し、CNB の免疫染色結果で術前に治療にはいることも多くなっています。病理検査の立場として、臨床により正確な情報が提供できるよう、病理医が判定しやすいように、より良い標本作製が望まれます。</p>

研修会名	平成 24 年度 第 3 回生理検査研究班研修会 超音波の基礎
開催日	平成 24 年 12 月 9 日 (日)
会場	三島市民文化会館 ゆうゆうホール 大会議室
参加人数	25 人
研修会内容	<p>毎年恒例の超音波検査士、受験対策講座を開催しました。</p> <p>難しい基礎をわかりやすく解説いただき、会員の皆様も試験対策はバッチリです。</p> 

研修会名	平成 24 年度 第 2 回微生物検査研究班研修会
開催日	平成 24 年 12 月 15 日 (土)
会場	ふしみやビル
参加人数	52 人
研修会内容	<p>【講演 1】β-ラクタマーゼの総論、一般病院での検出法、ならびに三重県でのβ-ラクタマーゼ検査のアンケート結果を発表していただいた。</p> <p>【講演 2】普段私たちは使用している菌名の決まり方、表記の仕方、細菌学名の調べ方を講演していただいた。</p> <p>【講演 3】細菌検査における、技術革命とされる、質量分析による同定検査、菌種名の変更が著しい細菌についての解説、今年の感染症の傾向について講演していただいた。</p>

研修会名	病理・細胞診に関する講演会と症例検討会
開催日	平成 24 年 12 月 22 日 (土)
会場	クリエート浜松 2 階 21 講座室
参加人数	34 人
研修会内容	<p>病理・細胞診に関する講演会と症例検討会というテーマで開催された研修会は、組織像、細胞像、電子顕微鏡までという幅が広く、なおかつ深い内容でした。</p> <p>実際に顕微鏡も用意されており、症例検討会では多くの意見が飛び交う充実したディスカッションが行われました。</p>

研修会名	平成 24 年度 第 5 回 病理細胞検査研究班研修会
開催日	平成 25 年 1 月 12 日 (土)
会場	静岡赤十字病院 本館 4 階 カンファレンスルーム
参加人数	8 人
研修会内容	<p>リンパ節 1 例 (藤枝市立病院)・子宮内膜 1 例 (静岡赤十字病院)・胸水 3 例 (県立総合病院、島田市民病院、静岡赤十字病院) の 5 例について症例検討を行いました。普段経験することのない、極めて希少な悪性腫瘍例や、施設間における判定様式の相違点、基礎的な細胞形態の再確認などが主な論点となりました。また、今回は予め臓器や材料を特定せず、全領域対象という形で各施設に症例を提供して頂きましたが、体腔液 (胸水) の症例が集中しました。近年、体腔液細胞診は病期分類や治療選択に関わってきているため軽視できない分野です。しかし多様性に富む細胞所見を示す分野でもあるため、判定に苦慮する症例が多いのが現状です。今回の検討会ではそれら体腔液中の組織型推定や鑑別の困難な症例についても活発な意見交換がなされました。</p>

『スキューバやらない?』

JA 静岡厚生連 遠州病院 N・M

昨年の夏、大学のときに仲の良かった友人から突然「スキューバダイビングやらない？」という誘いの電話がかかってきました。最初はなんの冗談かと思いましたが、友人は本気の様子でした。私は泳げないのですが、「泳げなくてもタンク背負ってるから大丈夫だよ」という友人の言葉をうけて、その場の勢いで誘いにのってしまいました。

よく考えたら何が大丈夫なのかわからない・・・とすぐに不安と後悔でいっぱいになりましたが、そのまま話は進んでいき、結局ライセンスを取りに行くことになりました。

ライセンスを取るための講習を受けに行ったのは福井県の南越前市というところでした。講習は事前に家に届いた教材で勉強しておいて、現地では答え合わせや筆記のテストのようなものと、水中での実習をするというものでした。

かなりのヒントを出してもらいながらもどうか筆記を終えることが出来ました。プールでの講習でフィンやウエットスーツを着たりタンクを背負ったりしましたが、ただスーツを着るのにも一苦労でした。タンクは水の中で背負ったのですが背負うときになぜかひっくりかえって頭から水に落ちてしまいました・・・。

いろいろありましたが海洋実習で初めて海に潜りました。イメージ的に日本海は荒れているような気がしていたのですが海はとても穏やかで透明度もかなりよかったです。あまり深く潜ったわけではありませんが、タツノオトシゴなどいろいろな生物をみることができ、最初の不安はなくなっていました。タンクは思っていたよりずっと重かったので、海からあがってから少し辛かったです。自分のできなさで恥ずかしい思いもしましたが、3日間の講習を楽しく過ごすことが出来ました。

ライセンスを取ってから3か月後、11月に初ファンダイブに行ってきました。初心者でも潜れるところをきいて西伊豆の大瀬崎というところに行きました。寒かったのでフードをかぶって潜ったのですが、私も友人も某番組のモジモジくんのようになっていました。

海の透明度は福井の方が良かったような気もしましたが、とてもきれいでした。少し潜ると大量のカマスやクマノミ、アンコウやウツボなど福井とはまた違った生物を見る事が出来ました。場所が違ふと見ることが出来る生物が全然違ふことに驚きました。ここにもタツノオトシゴがいたのですが、初めて泳ぐ姿をみて感動してしまいました。また今度行ってない場所に行こうという計画があるのですが、福井も大瀬崎の海もきれいでしたし、季節によっても違ふようなのでそちらにもまた行きたいと思います。

泳げない私がダイビングをするとは思ってもみませんでした。始めてみてよかったと思います。今後もいろいろな場所で潜ってくるつもりです。



マラソンってワイルドだろ～

10月28日(日)天気は曇り。雨が少し心配であるが気温は低めでマラソン日和。朝食を済ませウォーミングアップをしつつ、おもむろに現場に向かう。すでに、多くのランナーが集結。なんか、みんなパツパツのウエアをまといなぜか速そうに見える。

女性ランナーも多数参加しているが結構派手でスタイルもなかなかよらしい。若干よからぬ妄想に浸りつつも、はやスタートの時間となる。スタートは市役所前であるが9000人も参加者のため長蛇の列。ゲストは千葉真子さん、海老澤佳奈さん。顔は見えないが千葉さんの大きな叫び声が聞こえる。

ピストルの号砲(歓声と怒号でほとんど聞こえないが)を合図に、いよいよ『第4回しまだ大井川マラソン in リバティ』が開始となった。大勢の参加者であったため、ピストルが鳴ってから10分以上経過してやっと出発。スタートラインでは千葉さん・海老澤さんのお見送り。いつもは、車のみが走るこの許される道を、この日ばかりはランナーが独占して走るのは気持ちがいい。沿道をみれば顔見知りのひともしらほら。そうこうしている間に、大井川に到着。ここからがいよいよ長い。

焼津の折り返し地点まで約15km。最初はみんな笑顔や談笑など和气あいあいであったが、だんだんと無口になっていく。ときどき、給水地点で飲む水が妙にうまい。でもスピードを落とさないとしても飲めない。マラソンランナーはよくスピードを落とさずに飲むことができるなあとしきりに感心。途中で千葉真子さんとハイタッチ。やっとで折り返し地点まで到着。あと、半分頑張らねばと思いつつ、何で俺は走っているのかなと考える。

そもそも、走るきっかけになったのは数年前の検

中部支部 花鳥風月(ペンネーム)

診で引っかかったこと。やばい!まずは減量をしないで!長年連れ添った脂肪とおさらばしなくて!でも金はない!手っ取りばやいのはウォーキングか。3日坊主ならぬ1日坊主になりたくないためまずは2km、だんだん増やして1年後には8kmぐらい歩くことに成功。ただ、眠くて寝ながら歩き電信柱と喧嘩もしたりして。体重も結構減ってきたが横ばい状態。歩くのも時間がかかるし、もっと効率よくできないかな?ちょっと走ってみようか?時間も短くなるし…。そんなわけで現在は週1回～2回で10kmほど走っている。(でも今は寒くなってきたためチョット休業中)

そういえば、去年は20kmを過ぎたら足がつって、ずーっと歩いたなあ。今日は今のところ大丈夫だが、景色に変化のないこのなかだるみ状態の25kmから35kmを乗り切れればと、へろへろになりながら歯を食いしばる。27km地点では顔見知りの応援団に引きつった笑顔でスマイル。

33km付近では恒例の給食タイム。トン汁あり、おでん(食べたならリバースしそう)あり、ポテトあり、お饅頭あり色々目移りするが、まだ9kmも残っている。泣く泣くお饅頭とバナナを口に放り込み、ひたすら走る。周囲からはあへと何キロだ、頑張れといってくるが、大きなお世話と言いたいのをじーっと我慢しつつ、ニッコリ営業笑顔。



着ぐるみのランナーに抜かされた。自分より遥かに年の取ったランナーに抜かされた。足がいうことをきかず、うーんくやしい。39 km になっていよいよ雨が本降りとなってきた。冷たい雨が足の運びをさらに鈍らせるが、最後の力を振り絞って Goooooal。

去年よりも1時間以上も速く、4時間14分(ネットタイム)。うーん、満足のタイム。自己満足の時間に浸りたいがとにかく寒い。寒くて仕方がない。おまけに足が痛い。腹も減った。雨に打たれた出店で食料を買い込み、そうそうに現場を後にした。帰り道、まだこの冷たい雨の中を黙々と走るランナーの姿が印象的であった。

周囲からは、なんで苦しいのに走るの？走るの楽しいの？と訊かれるが、確かに走ることは苦しいし楽しくない。みなさんにあえてお勧めはできません。でも、走っているときは不思議と無心になれる。自分だけの世界に浸ることができる。走り終えた後の達成感は格別なものがある。そういう不思議な魅力にとりつかれ、今後もずーっと走ることを継続すれば健康(=体重の維持)もおのずとついてくる。

(仕事でも以前に比べ集中力が増したような気がする…かな?)

来年の3月には駿府マラソン(ハーフ)を走る予定。ちょっと頑張れる自分を発見したい。

私と少年野球

静岡県予防医学協会西部検査所 高橋 篤

私には、小学校2年生の長男と年中の長女がいる。

長男が、2年生にあがった4月より地元の少年野球チームに所属することになった。

もともと、保育園在籍中より「小学校に入ったら野球をやりたい」と本人が希望していたので、少しずつ体ができてきた2年生より入団させることにした。



私自身、小学生の時は6年間ソフトボール、学生のとときに3年間、社会人になってからは6年間軟式野球を経験してきた。その経験もあってか、土日には低学年のコーチも一緒に引き受けている。基本的には、団員の父兄で運営している為、父親はコーチを兼任している状態であるが、なかなか経験がないと指導することは難しい。講習会を受け、こどもとの接し方を学び指導に入る。その中で、ベースボールライフの禁止4Sを学んだ。

① STRESS (ストレス) ② STAND (我慢) ③ SLEEPRESS (睡眠不足) ④ SNACK

(スナック)であった。子供にスナック菓子を駄目だといっても必ず食べると思う。我慢させることになるのではないかと矛盾も感じてしまう。しかし、のびのびと育てることが成長への道に繋がるのだと感じた。一番印象に残った講義は、それぞれのプレイボールである。「全員野球」という言葉をよく聞くが、試合に出る選手スタッフまではよく理解できる。しかし、周りを見てみると、お母さんにとっては、早朝台所に立ってお弁当を作り始める時間がすでに「プレイボール」になるわけである。

より多くの情報を子供達に伝えていければ、より強いチームが出来上がるのではないかと思う。

平成24年度は、低学年の大会において2回戦での敗退となってしまった。しかし、平成25年度にむけてすでに始動している為、昨年度より1試合でも多くたくさん経験ができるようにしてあげたいと思っている。

自分の息子に対してもコーチの顔、父親の顔をしっかりと見せて行き、この先できる限りのサポートをし続けてやりたいと考えている。

平成25年 2月・3月の行事予定

2月

- 2日(土) 平成24年度 細胞診従事者講習会 : 沼津市立図書館
2日(土) ~ 3日(日)
静岡県臨床衛生検査技師会 スタートアップ研修会 : 熱海
10日(日) ~ 11日(月)
平成24年度 日臨技中部圏支部 生理検査研修会 : あいち健康の森
15日(金) 第7回東部地区意見交換会 : 三島市民文化会館
16日(土) 中部圏支部幹事会 : 愛臨技事務所
16日(土) ~ 17日(日)
平成24年度 日臨技中部圏支部 臨床化学・
免疫血清検査研究班研修会 : 岐阜大学医学部附属病院
23日(土) 静岡県臨床衛生検査技師会 理事会 : あざれあ
平成25年度予算総会 : あざれあ
23日(土) ~ 24日(日)
平成24年度 日臨技中部圏支部 血液検査研修会 : ウイング・ウイング高岡

3月

- 2日(土) 第19回日本神経生理検査研究会中部支部研修会 : 静岡市立静岡病院
9日(土) ~ 10日(日)
検査のひみつ展 : ツインメッセ
24日(日) 第13回 静岡血液フォーラム : あざれあ

お知らせ

静岡県技師会

会員数 2013/1/21 現在

1,485名

静臨技会員 各位

(社)静岡県臨床衛生検査技師会
会長 横地 常広

静臨技会員交流会についてのお知らせ

毎年、予算総会終了後に開催しておりました『静臨技会員交流会』ですが、今年は静臨技創立60周年記念および法人移行記念式典と祝賀会して、6月の第4回静岡県医学検査学会・総会終了後に開催する予定です。

詳細は後日お知らせさせていただきますが、多くの会員・賛助会員の参加をお願い致します。

臨床検査関連研修会・講習会 (1)

平成 25 年 1 月 20 日までに申請を受理し承認された研修会等を、下表のとおりお知らせします。

平成 25 年 (2) (敬称略)

日時・会場・参加費	研修内容・講師 (敬称略)	点数・担当・連絡先
2月2日(土) 15:00~ 2月3日(日) ~12:00 熱海 ホテル・カミ倶楽部 会員 10,000 円	平成 24 年度 スタートアップ研修会 【ねらい】 1.ネゴシエーション (交渉)・プレゼンテーション (提案) のスキルを身につけよう! 2.コミュニケーションを図ろう! 参加者: 新人から5年目位までの方	No. (120028261) 教育—基礎—30 点 沼津市立病院 原田 勉 (055-924-5100)
2月10日(日) 13:45~18:00 2月11日(月) 9:00~12:00 あいち健康の森 会員 10,000 円	平成 24 年度 中部圏支部 生理検査研修会 【テーマ】リテラシーを身につける 詳細は静岡技ホームページをご覧ください。 募集人員; 180 名 【1日目】 全体講演 【2日目】 選択研修 (3 会場にて同時開催・当日選択)	小牧市民病院 臨床検査科 田中夏奈 (0568-76-4131) (内線 2229)
2月15日(金) 18:30~20:30 三島文化会館 <u>標準化事業のため 会費の徴収はしません</u>	静岡県標準化事業 第7回東部地区意見交換会 1. 乳ビ検体の測定をとおして学んだこと 静岡県立総合病院 検査部 久住 裕俊 技師 2. 強乳ビ検体の症例について 共立蒲原総合病院 検査科 勝又 住夫 技師 3. 乳ビ尿の症例について 富士宮市立病院 臨床検査科 小野田 勝美 技師 4. 乳ビ検体の対処について 株式会社シノテスト 瀧澤 基 講師 5. 各施設間の意見交換	No. (120033133) 教育—専門—20 点 三島社会保険病院 関根 恵理子 (055-975-5545)
2月16日(土) 13:00~17:20 2月17日(日) 9:00~12:00 岐阜大学医学部附属病院 多目的ホール 会員 6,000 円 1日のみ 4,000 円	平成 24 年度 中部圏支部 臨床化学・免疫血清検査研究班研修会 【テーマ】最近話題の検査と震災 詳細は静岡技ホームページをご覧ください。 募集人員; 100 名 【1日目】 講演 3 演題 【2日目】 講演 2 演題	東海中央病院 渡邊 景介 (058-382-3101) (内線 3201) kakekko@hotmail.com
2月23日(土) 13:00~17:20 2月24日(日) 9:10~12:30 富山県高岡市 ウイング・ウイング高岡 会員 10,000 円 1日のみ 6,000 円	平成 24 年度 中部圏支部 血液検査研修会 【テーマ】基礎をテーマとし、多くの皆様の参加 をお待ちしております。 詳細は静岡技ホームページをご覧ください。 募集人員; 100 名 【1日目】 講演 3 演題 【2日目】 講演 2 演題	厚生連高岡病院 臨床検査部 柴田 正信 (0776-21-3930)

臨床検査関連研修会・講習会 (2)

<p>2月23日(土) 15:00~17:00</p> <p>あざれあ</p>	<p>社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会</p> <p style="text-align: center;">平成25年度 予算総会</p> <p style="text-align: center;">*会員カードを必ず持参して下さい。</p>	<p>No. (120028250) 組織—基礎—30点 静岡県立総合病院 藪田 明広 (054-247-6111)</p>
<p>3月2日(土) 12:00~</p> <p>静岡市立静岡病院 講堂(西館12階)</p> <p>日本神経生理検査研究会 会員 2,000円 非会員 3,000円</p> <p>事前申し込み制</p>	<p>第19回日本神経生理検査研究会中部支部研修会 テーマ:「神経生理検査の基礎と判読のポイント」 【プログラム】 講義1「神経伝導検査の基礎」 坂下 文康 技師 (三重県立総合医療センター) 講義2「術中モニタリングの基礎」 植野 道治 技師 (富士脳障害研究所附属病院) 講義3「脳波検査の基礎」 藤本 龍也 技師 (静岡てんかん・神経医療センター) 講義4「術中モニタリングの問題点と MEE-1200による対策」 日本光電中部(株) 脳神経担当者 講義5「小児のPSG検査をどうおこなえばいい?」 石郷 景子 技師(大垣市民病院)</p>	<p>小牧市民病院 田中 夏奈 (0568-76-4131)</p>
<p>3月9日(土) 10:00~16:00 3月10日(日) 10:00~16:00</p> <p>ツインメッセ静岡</p> <p>無料</p>	<p>平成24年度 検査のひみつ展</p> <p>公益目的事業の一環として企画いたしました。 このイベントの趣旨は、地域住民の健康増進、健康診断の大切さを広く啓発し、医療(特に検査業務)に対する理解を深めることを目的とします。 来場いただいた地域の皆様に医療技術を公開し、技師会会員が各種体験のサポートや解説を行ないます。</p>	<p>No. (120031591) 公益活動—基礎—30点</p>
<p>3月24日(日) 10:00~17:00</p> <p>あざれあ 2F 大会議室</p> <p>会員 6,000円 非会員 10,000円</p> <p>事前申し込み制</p>	<p>第13回 静岡血液フォーラム テーマ 「症例から考える血液疾患」 第1講演 『症例から考える、凝固・線溶検査と病態』 帝京大学医学部附属病院 中央検査部 技師長 島津 千里 先生 第2講演 『血液像・骨髄像の形態学からせまる血液疾患』 福岡大学医学部腫瘍血液感染症内科学 阿南 建一 先生 今年のフォーラムは、実際のルーチン業務で役立つ、凝固検査と形態の研修会を企画しました。</p>	<p>No. (120026663) 検体—専門—20点 三島社会保険病院 大橋 勝春 (055-975-5545)</p> <p>申し込み問い合わせ 聖隷浜松病院 栗田 哲至 (053-474-2632)</p>